



暖かい穏やかな日が続きましたが、立春を前に厳しい寒波がやってきて富士山の雪も裾まで広がりました。

衆議院の解散、総選挙が行われることになり、2月8日までの短期決戦に市役所はじめ関係機関では職員が準備に追われています。立候補される

方々にも支援する方々にも大変な2週間ですが、私達一人ひとりも、世界的な社会情勢の不安定化が心配される中でこれからの国民生活を左右する大きな選択を迫られていると感じます。よく見てよく聞いて熟慮の2週間としたいものです。

忙しい中ですが、2月13日から市議会2月定例会が始まります。こちらでも令和8年度の予算を決める大事な審議が控えています。物価高騰対策も待ったなしの状況ですので、市役所一丸となって気を引き締めて取り組んでいるところです。目玉となるデジタルプレミアム商品券は、1口（6,000円分）5,000円で販売数160,000口、1人最大10口まで購入できます。申込期間は3月2日～26日ですが、申し込み多数の場合は抽選によって口数を調整する場合があります。広く市民の皆様にご利用いただきたいと思います。詳しくは広報みしま2月号で。

三島市長 豊岡 武士

2026年4月1日より 自転車に「交通反則通告制度」を導入！

警察官が自転車の交通違反を認知した場合、基本的には現場で指導警告を行い反則金が課されます。ただし、その違反が交通事故の原因となるような、歩行者や他の車両にとって危険性・迷惑性が高い悪質・危険な違反であったときは検挙され刑事罰が科されます。

令和8年 4月1日から

自転車を利用される皆さんへ

自転車の違反に「青切符」が導入されます！

自転車の交通違反に対し、自動車などと同様に反則金を収めるよう通告する、「交通反則通告制度」いわゆる「青切符」が適用されます。

対象となる行為は100種類以上

対象となる年齢は16歳以上

反則金額は原付バイクと同等

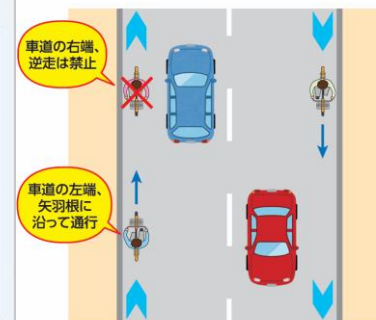
違反項目	反則金額
信号無視	6,000円
指定場所一時不停止	5,000円
ながらスマホ	12,000円
車道の右側通行	6,000円
並進	3,000円

通称「青切符」の発付対象となる悪質な交通違反については、従来通り、刑事処分対象となり、「赤切符」等で処理されます。



自転車は車道が原則※

矢羽根に沿って
車道の左端を通行しましょう



※「矢羽根型路面標示」のある車道は、自動車と自転車が混在して通行します。自転車は、矢羽根の位置と方向に従って、道路の左側を走行しましょう。

※ 命を守るため、ヘルメットは必ず着用しましょう。
(市ではヘルメット購入費用を補助しています)

三島市長 豊岡 武士
〒411-0035 三島市大宮町 2-14-20
豊岡たけし後援会事務所 TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>

トピックス みしま

◇ 2月23日は富士山の日

静岡県は2月23日を「富士山について考え、学び、想いを寄せ、後世に引き継ぐ」ことを期して「富士山の日」と定めています。三島市でも、市内の豊かな自然が富士山の恩恵であることを再確認する様々な協賛事業を市内各所で開催します。

2月23日(日)は天皇誕生日のため祝日です。親子で富士山を身近に感じながら、有意義な休日をお過ごしください。

○2月23日(月・祝) 市内の無料開放施設

・楽寿園、市民温水プール

・箱根の里プラネタリウム※要申込 箱根の里 TEL:985-2131

○富士山の日記念講演会「三島宿と小浜山」

2月19日(木)14:00～15:30 生涯学習センター講義室

※申込み 2月12日(木)までに環境政策課 983-2647

◇ 令和8年 三島市花壇コンクール

2月16日(月)から3月9日(月)まで、三島市花壇コンクールの参加者を募集します。対象は「春の花壇」です。

4月中旬に現地審査を行います。

募集部門：保育園、幼稚園、小学校、中学校、団体、個人、個人(エキスパート) の7部門

申込方法：緑と水のまちづくり課に申込書を提出



◇ 第44回三島市民演劇祭

三島市や近隣市町で活動する演劇関係の団体が、日頃の活動成果を発表し合い演劇活動の推進を図り、市民の皆様に演劇鑑賞の機会を提供します。アマチュア劇団6団体と高校演劇部2校、過去最多となる8団体が出演し、多彩な演目を披露します。生の舞台を身近に見るチャンスです。是非、お出かけ下さい。

会場：三島市民文化会館 小ホール

○2月14日(土) 17:15～ 葦山高校演劇部、劇団夏組

○2月15日(日) 11:00～ 宣至劇場、三島かたりべの会、劇団川瀬組、日大三島高校演劇部、Mforyou、演劇集団S木道場

みんなで支え合う地域づくり ～三島市のセーフティネット～

急激に変化する社会の中で生活していると、誰もが思わぬ困難に直面するものです。例えば、失業したときや病気になったとき等、社会が困った人々を助け生活を支えるための様々な制度や仕組みが、「セーフティネット」です。困ったときには自分一人で抱え込まず周りに助けを求めることも大切です。遠慮せずにこれらの制度を利用して支援を受けることで早期に生活を立て直していただけるよう、三島市ではたくさんの機関が連携し、市民の皆様からの相談に応じ、必要な支援が受けられるよう努めています。

《主な相談窓口》

○高齢者に関する相談：地域包括支援センター（市内7地区）
市役所・長寿政策課（983-2689）

街中ほっとサロン（中央町別館1階）

○市民の全般的な相談：市民生活相談センター（983-2621）
生活支援センター（973-3450）

○児童や子育ての相談：市役所・子ども未来課（983-2670）
市役所・学校教育課（983-2712）

○障がいに関する相談：市役所・障がい福祉課（983-2612）

○その他わからない時は：市役所・福祉総務課（983-2610）

※三島市社会福祉協議会も、住み慣れた地域で笑顔で暮らすお手伝いをしています。（972-3221）

《民生委員・児童委員》

お住いの地区では、地域の身近な相談相手として複数の民生委員・児童委員の方々が地域の「見守り役」、よき「相談相手」専門機関への「つなぎ役」として活動しています。住民の立場で地域の困りごとを皆さんと一緒に考え、サポートします。
※民生委員・児童委員は、厚生労働省から委嘱された「特別職の地方公務員」で、民生委員法により守秘義務が課されていますので、安心してお声掛けください。